

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	Tomodecoco ATELIER 放課後等デイサービス		公表日		2026/3/5
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内の各部屋や活動スペースの広さを踏まえ、活動内容や児童の特性に応じて使用する部屋や配置を工夫している。</li> <li>・個別と小集団活動をうまく組み合わせ、過度な混雑や刺激過多を避け、安全かつ落ち着いて過ごせる支援環境を整えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、利用児童数の増加や活動内容の広がりが見込まれるため、空間の使い方や環境設定について継続的に見直しを行い、状況に応じた支援環境の維持・向上に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用定員やこどもの年齢・特性・その日の状態を踏まえ、活動内容に応じた職員配置を行っている。</li> <li>・集団活動時だけでなく、個別対応や見守りが必要な場面においても柔軟に役割分担を行い、安全面および支援の質の確保に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、利用児童数の増加が見込まれるため、職員間での情報共有や役割分担をより丁寧にを行い、状況に応じた柔軟な配置や支援体制の維持・向上に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内は部屋の用途がこどもにとって分かりやすくなるよう、「学習スペース」等の表示をイラスト付きで掲示し、視覚的に理解しやすい環境構成を行っている。また、ホワイトボードを用いて一日の流れを常に確認できるようにすることで、活動の見直しを持ちやすくし、安心して過ごせるよう配慮している。</li> <li>・活動ごとに場所を分け、お子さまが安心して過ごせる空間づくりに努めています。</li> </ul>	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活空間については、日常的な清掃や整理整頓を行い、こどもが安心して心地よく過ごせる環境を維持している。また、学習、活動、休憩など活動内容に応じて空間を使い分け、こども達が集中しやすい環境や、リラクゼーションで過ごせる環境づくりを意識している。</li> <li>・日々の清掃を心がけ、気持ちよく過ごせる環境づくりに努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、こども達の成長や活動内容の変化に応じて、空間の使い方や環境設定を見直し、より快適で活動しやすい環境づくりを継続していく必要がある。</li> </ul>
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの特性やその日の状態、活動への集中度に応じて、個別の部屋や落ち着いて過ごせる場所を使用できるよう配慮している。</li> <li>・刺激調整や気持ちの切り替えが必要な場面においては、無理に集団参加を求めず、安心して過ごせる環境を選択できるよう支援している。</li> <li>・お子さまの状況に応じて、落ち着いて過ごせるスペースをご用意しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の部屋や場所の活用については、安心して過ごせる環境として定着している一方で、その後のステップとして、職員との信頼関係の構築や安心感の高まりに応じ、小集団活動へと段階的にチャレンジできる支援の流れを、より意識的に整えていく必要がある。</li> </ul>
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のミーティングや定期的な振り返りの機会を通して、支援内容や業務について職員間で意見交換を行い、改善につなげている。</li> <li>・個々の気づきや実践を共有することで、事業所全体として課題を捉え、支援や業務の見直しに反映させる体制を整えている。</li> </ul>	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに寄せられた意見や評価を踏まえ、事業所内で対応可能な点については、速やかに環境や体制の見直しを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、安全面や支援環境の向上につながる改善については、必要に応じて柔軟に対応していく必要がある。</li> </ul>
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のミーティングや情報共有の場を通して、職員が意見や気づきを伝える機会を設けている。</li> <li>・共有された内容については、事業所内で検討を行い、支援方法や業務の見直しにつなげることで、より良い運営を目指している。</li> <li>・日々のミーティングで気づいたことを共有し、改善につなげています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回いただいた意見やこれまでの気づきを踏まえ、職員の声が業務改善にどのようにつながっているかを、より分かりやすく共有していく工夫が必要である。</li> </ul>
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開所以降、事業所内での振り返りや意見共有を通して、支援や運営の改善に取り組んでいる。</li> <li>・今回の評価を、第三者の視点を取り入れる初めての機会として捉えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回実施する評価結果を踏まえ、内容を業務改善に活かしていく体制を整えていく必要がある。</li> </ul>

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質向上を目的として、法人内での研修や情報共有の機会を設け、支援に必要な知識や視点を学ぶ環境を整えている。また、日々の支援の振り返りを通して、学びを実践につなげることを意識し、職員間で支援の質を高め合う取り組みを行っている。</li> <li>・専門研修や人間性向上研修など幅広い研修を行い、職員のスキル向上に努めています。</li> </ul>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の支援方針やこどもの発達段階、特性を踏まえた支援プログラムを作成している。また、トモテココのホームページ等を通じて、事業所の支援内容や取り組みについて公表し、保護者や関係者が確認できるようにしている。</li> </ul>	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用開始時には、全てのこどもに対してアセスメントを実施し、こどもの特性や保護者の意向を踏まえた上で、支援計画を作成している。また、日々の支援の中で得られた気づきについては、職員間で申し送りや対面での共有を行い、必要に応じて保護者とも随時情報共有を行っている。</li> </ul>	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者を中心に、日常的にこどもの支援に関わる職員間で情報共有を行い、共通理解を図っている。</li> <li>・支援場面での様子や職員それぞれの視点を踏まえ、こどもの最善の利益を考慮した支援内容となるよう検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が不安や要望を伝えやすいよう配慮し、言いづらい内容についても汲み取れる関わりを心がけた上で、児童発達支援管理責任者を中心に、支援に関わる職員間での共有と検討をより一層丁寧に行い、一貫性のある支援へとつなげていく必要がある。</li> </ul>
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援計画は職員間で共有されており、個々のこどもに必要な専門的支援の視点や配慮点について共通理解を図りながら、日々の支援に反映している。</li> </ul>	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの適応行動の状況については、日々の活動や関わりの中での行動観察を中心としたインフォーマルなアセスメントを行い、支援に活かしている。また、保護者が外部機関等で受けた発達検査や評価結果については、共有を行い、支援方針の検討に反映している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、希望する職員を対象に検査法や評価の視点について学ぶ勉強会を職員間で実施するなど、アセスメントに関する理解と支援の質の向上を図っていく。</li> </ul>
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画は、ガイドラインに示されている「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の視点を踏まえ、こどもの発達段階や特性、生活状況に応じて必要な項目を設定している。その上で、日常生活や活動場面を想定した具体的な支援内容を計画に反映し、実践につなげている。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムは、こどもの発達段階や特性、当日の様子を踏まえ、職員間で意見を出し合いながら立案している。</li> <li>・個々の専門性や視点を活かし、チームとして支援のねらいを共有した上で、活動内容を検討している。</li> <li>・職員で話し合いながら、子どもたちに合った活動を考えられています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、活動プログラムのねらいや意図をより明確にし、新しい職員も含めて共通理解が図れるよう、事前・事後の共有や振り返りを行いながら、チーム全体で支援の質を高めていく。</li> </ul>
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動プログラムは、こどもの興味・関心や発達段階、季節性やその時々課題に応じて内容を見直し、同じ活動であっても目的や関わり方を工夫することで、固定化しないよう取り組んでいる。</li> <li>・季節の行事や子どもたちの興味に合わせて、活動内容を工夫しています。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの発達段階や特性、その時々状態に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせながら支援計画を作成し、支援を行っている。</li> <li>・安心して取り組める個別的な関わりを基盤としつつ、小集団活動へと段階的につなげる支援を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、個別活動から集団活動への移行におけるねらいや支援のステップをより明確にし、こども一人ひとりの成長や変化に応じたチャレンジの機会を計画的に設定していく。</li> </ul>

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援開始前には、職員間で情報共有を行い、その日のこどもの状況や支援内容、役割分担について確認した上で、チームで連携しながら支援を行っている。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後には、その日の支援を通して気付いた点やこどもの様子について、職員間で随時共有を行っている。</li> <li>・その日のうちに確認が必要な事項は速やかに伝え合い、翌日には申し送りを通して前日の支援内容や気づきを共有し、支援の継続性を確保している。</li> <li>・次の日に行っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、振り返りの視点や共有内容を整理し、支援の成果や課題がより明確に引き継がれるよう、職員間での共有方法の工夫を進めていく。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援に関して記録を行い、こどもの様子や支援の内容、気付いた点を職員間で共有している。これらの記録は、支援の振り返りや検討の材料として活用し、支援の検証および改善につなげている。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なモニタリングについては、現在は支援開始からの経過期間が短く、更新時期に至っていないケースが多い。一方で、日々の支援や記録、保護者とのやり取りを通して、こどもの状況や変化を継続的に把握し、支援内容の必要性について検討を行っている。</li> </ul>
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後等デイサービスガイドラインに示されている「4つの基本活動」を踏まえ、こどもの発達段階や特性に応じて、複数の活動を組み合わせる支援を行っている。</li> <li>・遊びや生活場面、学習の要素などを相互に関連づけながら、日常の活動の中で総合的な支援を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、「4つの基本活動」それぞれのねらいをより明確に意識し、新しい職員も含めて共通理解が図れるよう整理を行いながら、支援内容のさらなる充実を図っていく。</li> </ul>
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促すための支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもが活動内容や関わり方について自己選択できるよう、選択肢の提示や見通しを持てる環境づくりを行い、自己決定を尊重した支援を行っている。</li> <li>・こどもの気持ちや意思を受け止めながら、無理のない範囲で選択や決定を経験できるよう配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、こども一人ひとりの発達段階に応じて、選択肢の示し方や関わり方をさらに工夫し、自己決定の経験を積み重ねながら、自信や主体性の育ちにつなげていく。</li> </ul>
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議には、必要に応じて、当該こどもの支援状況や特性を把握している職員が参画している。</li> <li>・日頃の支援で得た情報を基に、関係機関と連携を図りながら、こどもにとって適切な支援につなげている。</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの利用状況に応じて情報共有や連携を行う体制を整えつつある。</li> <li>・今後、関係機関との連携機会を調整・検討しながら、こどもの支援に反映できる体制づくりを進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は、関係機関との連携の機会や方法をさらに整理し、日常的な支援の中でも円滑な情報共有が図れるよう、連携体制の充実を進めていく。</li> </ul>
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の行事計画と下校時間の確認を綿密に行い、送迎のトラブルが発生しないように取り組んでいる。</li> </ul>	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・開所間もないため、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有については、現在はまだ実施段階には至っていない。今後、必要に応じて関係機関と連携し、こどもの状況や支援の経過を共有できる体制づくりを進めていく。</li> </ul>
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校卒業後に放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合の情報提供については、現時点ではまだ実施機会には至っていない。今後は、移行時に必要な支援内容や経過情報を関係機関に提供できる体制を整えることを見据えていきたい。</li> </ul>	
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の児童発達支援センターとの連携については、現時点では実施できていない。今後は、必要に応じてスーパーバイズや助言、研修を受ける機会を設定し、職員の専門性向上や支援の質の充実に活かせる体制を整えていく。</li> </ul>	

	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	1		・放課後児童クラブや児童館などの地域施設との交流は、現時点では計画的な実施には至っていないが、公園などでの自然な触れ合いの機会はある。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		・自立支援協議会等への参加については、現時点では積極的な実施に至っていない。今後は、必要に応じて参加機会を設定し、地域の関係機関との情報共有や支援ネットワークの構築に役立てるとともに、職員の専門性向上にもつなげていく。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・日頃から、子どもの状況や支援内容について保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持つよう努めている。 ・送迎時や、オフィシャルラインも効果的に活用し、子ども一人ひとりの情報を共有している。	・今後は、言い出しづらい保護者も含め、ちょっとしたことも伝えやすい工夫を行い、保護者との共通理解がより深まるよう支援していく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			・家族支援プログラムや研修、情報提供については、現時点ではアトリエでは実施していない。しかし今後は、法人内で実施している他事業所の取り組みを踏まえ、アトリエでも家族が参加できる機会を計画的に実施し、家族の対応力向上につなげていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・家族からの子育ての悩み等に対する相談には適切に応じ、面談や必要な助言、支援を行っている。 ・送迎時や対面、オフィシャルラインなどを通じて、家族が相談しやすい体制を整えている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5			・今後は保護者会等、計画的に機会を設定し、保護者同士やきょうだいが情報交換や支援ネットワークを構築できる体制を整えていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・苦情対応の体制は整備されており、周知している。 ・苦情があった場合には迅速かつ適切に対応できる体制を確保している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・定期的に通信を発行するとともに、ホームページやSNSを活用して、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2		・事業所の行事に地域住民を招待する等の地域開放については、現時点では実施機会に至っていない。今後は、地域の方々に参加できる行事や活動を考え、地域との交流や理解を深める事業運営を行っていきたい。
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			

吊 時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待防止のため、職員研修の機会を確保しており、新人研修にも組み込むなど、全職員が抜けなく研修を受けられる体制を整えている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		